

ガスタービン員(1/2)

1 仕事の内容

海上自衛隊の艦艇の多くは、ジャンボジェット機等に搭載されているガスタービンエンジンを船舶用に改良したものを推進用及び発電機用のエンジンとして使用しています。

ガスタービン員は、護衛艦あるいは、補給艦などの艦艇に配置され、推進力、電気を賄うガスタービンエンジンの運転並びに整備を行います。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、護衛艦等において約1年間の勤務を経験し、神奈川県横須賀市にある第2術科学校において約4.5か月のガスタービンエンジンに関する専門教育を受けた後、護衛艦等の機関科ガスタービン員として艦艇勤務することとなります。

3 主な勤務地

全国5か所の総監部（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊）等を母港とする艦艇部隊（護衛艦、補給艦等）、第2術科学校（横須賀）及び教育隊等の教育部隊などがあります。



ガスタービンエンジン



工業用内視鏡を使用した内部点検



最新鋭ヘリコプター搭載

護衛艦ひゅうが

ガスタービン員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

2級ボイラー技士、危険物乙4類取扱責任者、高圧ガス取扱責任者（第3種冷凍機械）等

5 先輩からの一言



世界の艦船では、スタンダードとなっているガスタービンエンジンを動かせる、とてもやりがいのある仕事です。

